

にし、ロータリーをもう少し大きくしながらまちづくりができていければいいと思います。

小山内区長：今、本郷台駅前には整備が行っていて、今後の南小菅ヶ谷住宅が整備されていく動きの中で公共的な施設は入れていただきたいと思っています。立体駐輪場についても予算としては厳しいところもありますが意見としては伝えていきます。バス路線についてですが、神奈中バス、江ノ電に対して地元の要望は伝えていきます。採算が取れないと本当に難しいという話もありますが、ライドシェア等何かできることがないかをしっかり検討していきたいと思っています。

石渡議員：バス路線の採算が取れるかとれないかは考え次第なところがあるのではないかと思います。例えば通勤に必要な世代と、時間はたっぷりあるけれども足がないと困るといった世代があると思います。今は駅から分譲地までの路線になっていますが、それを分譲地から分譲地に渡り歩く路線等あったらいいのではないかと思います。そういった提案をしていきますので、検討や研究をしていただきたいです。

大桑議員：関連するところで、まさに戸塚方面のバス路線については、戸塚までの途中に明治学院大学等があり、通学という意味では、学生を本郷台駅に呼び込めれば採算もとれるのではないのでしょうか。

小山内区長：バス路線については地域からも提案や要望をいただいているので、十分に検討していきたいと思っています。

石渡議員：栄のブランドづくりとインターチェンジ・ジャンクションや栄の農について一緒に話ができないかと思っています。栄のブランドはぜひ必要だと思っています。

小山内区長：昨年度、栄の野菜めしあがれの人気が高く、クックパッドでも人気が非常に高かったです。鎌倉女子大の学生や農協関係者、区の職員が協力し知恵を出し合ってPR等してマルシェでも人気だったメニューもあるので、それらが恒常的に食べられれば喜ばれると思います。

石渡議員：気持ち的には鎌倉野菜ではなく栄の野菜になってほしいです。鎌倉野菜がせっかく注目されていますので、同じ地域で作っている栄の野菜ということでうまくPRして、栄がもっと認知さ

れる工夫をしていければいいと思います。

小山内区長：例えば、こども農園の方等、活動を広げたい方や担い手不足で休耕地になり誰かに使ってほしいと希望している方もいらっしゃると思います。そういったところをうまくつなげられたらいいと思っています。色々なニーズを組み合わせながら栄の野菜を広げられるようにしていきたいです。

石渡議員：防災の関係でFM戸塚のことをもう少し詳しく聞きたいです。インフラを整えることが望ましいと思いますが、今どのような状況か教えてください。

高嶋総務課長：FM戸塚と話を進めており、3月までには協定を締結したいと考えています。携帯にアプリを入れて聞くこともできます。しかも、夜間であっても区役所が放送に割り込むことができるので、副次的な広報手段とすることもできます。

大桑議員：笠間に場所がほしいという話が先ほどありましたが、現状、人が住んでなくてバリケードがされている場所もあります。場所をとるためにアンテナを張ってほしいので引き続きお願いします。商店街にぎわい創生事業について詳しく教えていただきたいです。

神山副区長：今は栄通り商栄会と本郷商栄会の2商店街が対象です。商店街だけで何かをやるというのが難しいので地域と協力して進めていきます。検討会は年度内にあと2回やります。いずれは区内全域に広げていきたいと考えています。

大桑議員：今後は他の商店街に広がっていくということですか。飛び地的なのかつなげていくのかどのようなかたちですか。

神山副区長：全部をつなげてしまうと商店街がぼけてしまう可能性があるので、全部ではないですが、現在の2商店街からは広げていく方向です。相談をしながら進めていきたいです。

大桑議員：「さんぽみち」の活用方法について、もう少し詳しく教えてもらえますか。これまでも色々な取り組みをして難しい面もあったと思いますが、何かあてがあるのでしょうか。

早乙女地域振興課長

：地域づくりキャンパスとして「さんぽみち」の活用方法についての講座を今年度三回開催するために、これから参加者等を集めていきます。市民の方だけでなく区職員も参加可能にし、

2回は夜間に開催し、1回は日曜日の昼にフォーラム形式で行う予定です。コーディネーターにも入ってもらい、どう活用できるか検討し、その成果物を来年度につなげていきたいと考えています。

大桑議員：ニーズがあるかわからないが、鎌倉からハイキングで上郷森の家まで歩けます。外国の方等にトレッキングのニーズがあるのは間違いないと思います。上郷森の家をPFIでやるなら鎌倉とうまく連携しながらニーズを把握して、せつかくの資源なので活用してもらえたらいいと思います。

興石議員：栄区が率先して一般市と協力していくことを実践していただいています。区の宣伝について横浜市外に対してだけでなく、市内に対して区の存在をアピールしていくことが大事ではないかと思っています。横浜市歌の中に区名が入っているのは栄区だけ。横浜市18区の中で栄区だけがもっている魅力というのを噛みしめるように宣伝してもらえたらありがたいと思います。基本的考え方の中にある徹底的な見直しを行いました、とありますが前年と比べて具体的に大幅に増減した補助金を含めて教えていただきたいです。

高嶋総務課長：大幅に減った事業としては、28年度で終了した事業がいくつかあります。例えば、街歩きガイドの作成100万円、さかえほっとスクール60万円は一時中断、地域で見守り推進事業は局の予算が入ったため削っております。予算の策定にあたり、全課ゼロベースで事業を見直しました。本質的な目的や地域に本当に必要ななどの視点から全面的に見直しました。各課それぞれの工夫で削減し、新たな事業を生み出しました。

興石議員：さかえヤングフェスティバルの予算が120万円となっておりますが、参考に今年度がいくらだったか教えてください。

高嶋総務課長：同額の120万円です。

興石議員：例年この金額で推移しているのでしょうか。

高嶋総務課長：ここ何年か少しずつ削減してきていますが、今年度は120万円となっております。青少年指導員の方からもご意見いただいております。

興石議員：目的の根本的な見直しも含めて中学生の力をどう活かしていくのか。私としては協力したい、応援したい事業ですので駅伝と

あわせて継続していただけたらありがたいと思います。天園の一体的な活用と安心安全なウォーキングと健康寿命という視点で進めていただきたいのでよろしくお願いします。区政運営で人を育てるとあります。現場は区にあり、局にあるわけではないと思います。区が把握している現場というのを見に来る、実体験してもらおうという体験をとおして施策をつくってもらいたいと思っています。

小山内区長：健康福祉局の職員等は現場で研修を受けています。先日も、朋で行っていました。区をとおして行うということであれば喜んで実施したいと思います。健康福祉局は施設と直接やり取りできるようなのでいいのですが、総務局や財政局など現場に触れる機会がないような人もいますので、そういったところとは相談したいと思います。横浜市歌に栄という文字があるというお話がありました。先日、栄の音楽協会と栄フィルの人たちが主催した第九に1,500人が参加し、栄区賛歌をみんなで歌いました。合唱団に入っている方は、栄区の人だけでなく東京都内や、鎌倉市や他区からも栄区の本当の豊かさに魅力を感じて参加しています。

興石議員：近藤政代さんが参加していましたので感想を教えてください。

近藤福祉保健センター長

：30周年を迎えて私にできることはなにかと考えました。栄区賛歌が本当に素晴らしいのでみんなが歌えるようになればいいと思います。

興石議員：共通の物ということで、たち一くんのピンバッチを何個作成したのか教えてください。そして、ほしい区民にはいきわたるくらい作成していただきたいのですがいかかですか。

高嶋総務課長：約2,000個作成しました。30周年にご協力いただいた方を中心に配付しており、単会の町内会長様には配付しました。今後は各種団体の方などにも配っていきます。今後追加で作成したいと思います。

興石議員：さかえっ子体操についてですが、コンセプトはいいと思いますが、振り付けが難しいと思います。例えば、マラソンの前にウォーミングアップのためにやるのに、難しくてウォーミングアップにならないということがあります。さかえっ子体操の扱い

方については検討していく必要があると思います。セーフコミュニティの災害安全対策分科会 10 万円が新規となっていますがこれは今まで行われていなかったのでしょうか。

神山副区長：防災事業の中で行っていたのですが、分科会として予算上新規としました。また、児童虐待予防対策分科会も予算上新規としました。

興石議員：水辺愛護会活動支援事業についてですが、活動を進めていくうえでレガシーは何になるのでしょうか。民間の担い手のみなさんとどういったやりとりがなされているのか教えていただきたいです。ニーズがあれば掘り起し、応援していったほうがいいのではないかと考えています。

上野所長：今年度初めて開催し、会員の皆さんからとても好評でしたので日頃のみなさんの活動を応援していこうと考えています。水辺に花を植えている人の支援を今後していきたいです。花サクサカエで区役所で花をいっぱいにする活動をしていますので、水辺愛護会の方たちの力も取り入れながら一緒にやっていきたいと思っています。

興石議員：市民局に提案しましたが、スポーツセンターの駐車場が公会堂の駐車場という位置づけになっており、公会堂の料金設定になっています。スポーツセンターは2時間300円、公会堂は1時間300円です。スポーツセンターを利用した人は減免処置ができるように区役所からも応援してほしいです。区民が自分たちだけという不公平感がありますが、何か聞いていますでしょうか。

小山内区長：スポーツセンターの料金設定について課題があると聞いており、どんな課題があるのかを市民局と検討していきます。

興石議員：区の木を使って宣伝をということですが、区を歩くためのアプリを作るということをぜひ区で行えれば良いと思います。昨年、イベントバスを走らせていただきました。駅まで15分構想とは別にその突破口になるといいなと思います。ぜひ駅前のイベントの時に栄区はこまやかな交通網をやるという姿勢を見せるという意味においてもイベントバスを継続していただきたいと思うのですがいかがでしょうか。

小山内区長：昨年はマルシェの時に、ファンケルさんと神奈中バスさんに

協力してもらいました。実際の利用者はそれほど多くはありませんでしたが、繰り返し行っていくことで可能性はあると思います。ファンケルさんは土日使ってよいと言ってくれています。それと並行して、しっかりとしたバス路線も考えていきます。

興石議員：これも区局連携になりますが、道路局が地域密着の交通事業を1本もっています。瀬谷・栄のように通ってないところにどう貢献していくかということをお道局や交通局に訴えていきたいです。どこで審議が可能なのか。区要望として挙げていいのか知りたいです。

小山内区長：交通網の充実というところでは要望はしています。今回も要望が叶って、区局連携で予算がついたので一歩前進と捉えています。今後はニーズ分析を慎重に行っていきます。

興石議員：ニーズが通勤通学だけではなくてきていて、区内の横移動の際、障害のある方が立ったままで乗っているという現象が起きており、区内の調査を細やかにやり検討するプラットフォームを作ってほしいです。道の駅をブランドづくりの中でやっという位置づけるなら、行政が主導でやるべきなのかという議論も含め、民間なり住民なりからの強い要望がなければ難しいと思います。道の駅についての意見交換会を開くぐらいの意気込みがないと難しいと思います。市民局に要望があることをしっかり伝えていかないとタイミングを逃してしまうと思うのですがいかがですか。

小山内区長：道の駅については地元の意向を確認している段階で、地元の方が道路局と相談しながら進めているところです。区からも区政推進課が参加し、道路局と調整しています。

大桑議員：放課後の子どもたちの地域支援事業について教えてください。

林学校連携・こども担当課長

：今年度、豊田地区で進めさせていただいております。地域や学校にも入っていただいて話し合いを進めています。内容としては、地域と学校の協働事業を引き継いだ取組を進めつつ、子どもたちの課題について話し合っています。これまで学齢期の子どもたちの問題について話し合いをする場がなかったので、情報共有が進むなどの効果が出ています。

	<p>大桑議員：情報提供の場になっているということですが、今後の展開についてどこまで考えていますか。あくまで話し合いの場でしょうか。</p> <p>林学校連携・こども担当課長</p> <p>：今後の話し合いの中で、さまざまな取組が出てくると思いますが、地域の話し合いに任せていきたいと考えています。また、地域については今後広げていきたいです。</p>
備 考	